

会社訪問 はい！よろこんで！活気満ち溢れる『あすばる』へ

平成10年8月にオープンしたあすばる大崎は、温泉、宿泊、レストラン、地域物産館を併せ持ち、『大崎ふれあいの里公園』や『くにの松原キャンプ場』と連動した憩いの場として親しまれています。

また、道の駅『くにの松原おおさき』に隣接していることから、休日は、ドライブの休憩や観光客でにぎわっています。

宿泊施設は、和室6室、洋室5室の11部屋があり、観光客やスポーツ合宿などに利用されています。

温泉は、『松韻乃湯』と名

づけられ、ぬめり感がある炭酸水素塩泉。皮膚病に効果があり、肌がツルツルとなることから『美人の湯』とも呼ばれています。浴槽は大浴場をはじめ、気泡、寝湯、水風呂、うたせ湯、露天風呂、電気風呂、家族湯、遠赤外線サウナなどがあり、充実した設備が整っています。また、早朝6時から、朝風呂を楽しむことができます。今年、3月3日には、温泉入浴客300万人を達成いたしました。

あすばる大崎は、平成22年4月にさつま麺業株式会社へ業務委託を行ったことから、

館内のレストランは、同社がチェーン展開している『がんこ庵』が入店。お昼時の店内は、「いらっしやいませ〜」「はい！よろこんで〜」と元気な店員の掛け声が響き渡りま

す。大崎産の桑の葉をそばに練り込んだ薬膳そばは、大崎店でしか食べることができません。

館内の直売所には、新鮮野菜、フルーツ、焼酎を中心に地場産品が多数並びます。新鮮な野菜を求めて遠くから通う人も多いとか。

今年の5月には、地元の食材を食べる場がほしいと声が

多かったことから、新たな賑わいの拠点として、日本有数の出荷量を誇るウナギを提供する場としてあすばる物産館がリニューアルされました。

物産館では、うな重、うな井のほか、骨をオープンで焼き上げた骨せんべいを提供しています。

また、物産館横には、足湯も併設され、べっぴん足湯と名付けられました。

楠原秀尉支配人は、「はい！よろこんでの精神で活気あふれるあすばるへ従業員一同がんばっていきます。」と話されました。



会社概要

事業内容

○温泉○宿泊○産地直送物産館

○道の駅の運営

設立 平成10年3月2日

代表者 代表取締役 東 靖 弘

従業員数 40名



▲あすばる大崎支配人 楠原秀尉さん



▲温泉『松韻乃湯』



▲あすばる物産館『かつ鰻』



▲べっぴん足湯



▲カブト虫のモニュメントが目印！